

平成28年度の重点課題

- 男子
「握力」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 全体
・A～Cの判定の児童は、91.7%と昨年度より5.3%増えているが、昨年度に引き続き、「50m走」「立ち幅跳び」が県平均値かつ全国平均値より低い学年が多い。
・「50m走」を県平均値かつ全国平均値より上回る児童は、69.6%にとどまっている。
・「立ち幅跳び」を県平均値かつ全国平均値より上回る児童は、55.6%にとどまっている。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 改善計画を周知・徹底
児童・教職員に重点課題を周知し、体育の授業や学校行事などで徹底して行えるようにする。
- 体育授業の質の向上
職員研修を行い、走り・跳躍力を高める運動の指導法について全教職員で学習する場を設ける。
- 遊びの推奨
大とびなわやビーチバレーボール、ライトドッジボールといった児童が運動に親しみやすい遊び道具を全学年に配布する。また、児童が多様な遊びを行う中で、基礎的な運動の能力を養えるように体育朝会などで遊びの紹介を行う。
- ランランラン（業間体育）活用
現在実施している「ランランラン」を引き続き行い、毎週木曜日は全員が必ず走るようにする。1ヶ月目標などを設定し、意欲付けを図る。
- 体力オリンピックの開催
昨年度と同様に、2学期に「体力オリンピック」を開催する。特に課題のある「50m走」「立ち幅跳び」の2種目に限定し、授業で継続的に体力を高め、記録をとるようになる。また、伸び率のよかった児童を表彰することにより、自らの記録を向上させる意欲を高める。
- 家庭との連携
長期休業中の宿題として体力アップカードの取組を実施し、家庭でも体力作りを行うとともに、家庭での体力作りの意識が高まるように啓発していく。

平成29年度新体力テストの結果（県平均値（平成28年度）・全国平均値（平成27年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.22	16.50	28.89	25.33	24.06	11.80	116.22	10.28	33.78	第1学年	8.84	16.03	30.71	25.03	25.24	11.59	118.21	6.47	36.00
第2学年	10.42	16.42	26.92	36.83	37.21	10.76	133.96	16.88	41.92	第2学年	10.68	16.09	33.41	36.82	37.45	11.04	131.77	9.86	45.59
第3学年	12.71	17.87	32.63	38.34	34.29	9.86	136.63	17.37	46.97	第3学年	12.89	17.14	34.00	37.29	27.21	10.20	132.00	12.57	48.32
第4学年	12.67	22.25	31.58	41.39	53.61	9.68	140.31	21.83	51.50	第4学年	14.45	21.30	36.05	41.55	50.00	9.69	145.60	15.90	57.65
第5学年	15.61	21.61	37.17	45.46	58.80	9.40	156.54	26.68	57.49	第5学年	16.21	23.93	43.14	45.64	56.00	9.60	152.07	17.64	62.00
第6学年	19.50	27.88	36.58	47.62	69.58	8.52	177.19	32.38	66.12	第6学年	19.70	26.55	40.91	49.24	55.21	8.82	164.94	20.73	67.79

県平均値かつ全国平均値未満

平成29年度新体力テストの結果（県平均値（平成29年度）・全国平均値（平成28年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	9.22	16.50	28.89	25.33	24.06	11.80	116.22	10.28	33.78	第1学年	8.84	16.03	30.71	25.03	25.24	11.59	118.21	6.47	36.00
第2学年	10.42	16.42	26.92	36.83	37.21	10.76	133.96	16.88	41.92	第2学年	10.68	16.09	33.41	36.82	37.45	11.04	131.77	9.86	45.59
第3学年	12.71	17.87	32.63	38.34	34.29	9.86	136.63	17.37	46.97	第3学年	12.89	17.14	34.00	37.29	27.21	10.20	132.00	12.57	48.32
第4学年	12.67	22.25	31.58	41.39	53.61	9.68	140.31	21.83	51.50	第4学年	14.45	21.30	36.05	41.55	50.00	9.69	145.60	15.90	57.65
第5学年	15.61	21.61	37.17	45.46	58.80	9.40	156.54	26.68	57.49	第5学年	16.21	23.93	43.14	45.64	56.00	9.60	152.07	17.64	62.00
第6学年	19.50	27.88	36.58	47.62	69.58	8.52	177.19	32.38	66.12	第6学年	19.70	26.55	40.91	49.24	55.21	8.82	164.94	20.73	67.79

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

- 男子
「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
「握力」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 全体
・A～Cの判定の児童は、89.8%と昨年度とほぼ変わらなかったが、「握力」「50m走」が県平均値かつ全国平均値より低い学年が多い。
・「握力」を県平均値かつ全国平均値より上回る児童は、41.2%にとどまっている。
・「50m走」を県平均値かつ全国平均値より上回る児童は、58.0%にとどまっている。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 改善計画を周知・徹底
児童・教職員に重点課題を周知し、体育の授業や学校行事などで徹底して行えるようにする。
- 体育授業の質の向上
体育主任・保健主事が単元の導入時の授業にT1として入り、45分の授業の流れを掴めるように職員研修を行う。また、授業でもダンスする機会を多く取り入れ、集合時などは全力疾走する。
- 遊びの推奨
一輪車・竹馬を整備し、児童が多様な遊びを行えるように環境を整備する。また、基礎的な運動の能力を養えるように体育朝会などで遊びの紹介を行う。大休憩は原則、児童全員が外遊びをするよう全校で共通認識をもって取り組む。
- 元気づけタイム
週に1度、握力・走力を高めるための運動・遊びを行う。
- 体育委員会主催の運動イベント活動
「録棒ブラサガリンピック」などのイベントを開催する。
- 体力オリンピックの開催
昨年度と同様に、2学期に「体力オリンピック」を開催する。特に課題のある「握力」「50m走」の2種目に限定し、授業で継続的に体力を高め、記録をとるようになる。また、伸び率のよかった児童を表彰することにより、自らの記録を向上させる意欲を高める。
- 家庭との連携
長期休業中の宿題として体力アップカードの取組を実施し、家庭でも体力作りを行うとともに、家庭での体力作りの意識が高まるように啓発していく。家庭でできる握力・走力アップ運動を紹介する。

平成30年度の目標値

- 総合評価において、A～Cの割合を90%以上にする。
- 「握力」を県平均値かつ全国平均値より上回る児童を50%以上にする。
- 「50m走」を県平均値かつ全国平均値より上回る児童を60%以上にする。